

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	きっずサポートえみ		
○保護者評価実施期間	2025年 7月 28日		～ 2025年 8月 22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	2025年 9月 1日		～ 2025年 9月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 9月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	毎日活動内容が固定化されないように工夫している	同じプログラムにならないように、毎日利用でも固定曜日でも内容がかぶらないように調整している。また、プログラム作成をするにあたって、活動の流れやスタッフの配置、子どもたちの個人目標を設定したプログラムの紙にまとめたものを朝のミーティングで周知して、それをもとに進めています。	個人目標を設定しているため、どうフォローしたら子どもたちの成長がみられるのかを全体で話し合い、スタッフ同士の連携を取りながら、さらに有意義なプログラムの時間にしていきます。個別の気づきもちろん、ペアのお友達も意識できるように支援をしていきます。
2	保護者さんや子どもたちが安心感をもって楽しみに通っているところ	保護者さん、お父さんが不安にならないよう丁寧な説明や丁寧にかかわることを意識しています。またスタッフが楽しくなければ子どもたち楽しくないと思うのでスタッフも一緒になって楽しむようにしています。また常勤スタッフが毎日5～6人おり、子どもたちに対してマンツーマンに近い状態や、子どもたちがスタッフの顔を見て安心できるように配置しています。	今後もさらに子どもたちのためになるのかを考えながら、将来のための支援を考えていきます。そのためには信頼関係をより作って丁寧に関わっていきたくと思います。また安全にも必ず配慮してこれからも通ってもらえるよう、日々意見をもらいながら改善していきます。
3	情報共有の徹底さ	スタッフ同士ではスマホのアプリを使ってリアルタイムに子どもたちの様子や状況、記録を残すようにしています。「ここはわからない」がないように、また振り返りができるように意識して共有しています。また、保護者様とはLINEを使わせてもらい、気になることや様子、万が一のけがの時には迅速に連絡させていただいています。	今後もさらに情報の漏れがないように全体で意識を高めていきます。子どもたちのトラブルやできた時など小さなことでも共有して支援につなげていきます。これらをもとに保護者様にも面談の時やLINEを引き続き活用させてもらいながら、子どもたちの様子を共有していきたいです。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事故防止マニュアル等のマニュアル、災害発生時の訓練をしているかどうかなどスタッフも保護者さんも知らないことがあったこと。 地域や保護者さん同士の交流や保護者さん向けの研修などの場を設けられていないところ。	どこまでの周知をするべきなのかの理解ができていなかったことが原因と考えられる。 立地や、日程時間帯的になかなかやれずにいる。	マニュアル作成をしていき、また研修も含めて職員間で月に1度行っていけるよう日程を組んでいきます。また保護者さんにも避難訓練を行ったときにはどのようなことをしているのか、マニュアルのことも含めて実施内容についてアプリにて周知してまいります。イベントなどを通してや場所を借りて、交流を深めたり、研修を行う機会を検討していきます。
2	活動スペースが手狭に感じるときもあること。	小学生が増えて体格的に大きくなりつつあることもある。	プログラムの中では、子どもたちに危険がないような動線を作ったり、活動の内容や気候によるが外での活動など室内だけでなくところも視野に入れながら、のびのびと子どもたちが活動を行えるように案を出し合い工夫していきます。またフリータイムでも危険がないよう、また活動スペースが狭く感じて遊びができないとなるよりは、限られた空間でどう遊べるかも一緒に考えていきます。
3	情報発信をしている頻度が少ない もっとたくさん子どもたちの姿を見たい。	特定のスタッフに業務が偏り、滞っていることがある。	日々の活動をいつでも見学に来ていただけます。日々の活動は写真を撮っていますが、なかなか写真をお見せする機会がなく申し訳ありません。今後定期的にSNSの更新や活動風景をお見せできるよう、業務の分散や、アプリの活用など工夫をしていきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日		利用児童数		回収数	
きつずサポートえみ		2025年 11月 17日		21		16	
環境・体制整備	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
		7	5	2	2		
環境・体制整備	1	7	5	2	2	・屋外活動などを取り入れながら、窮屈さを感じさせない配慮を頂いていると思います。 ・小学生が多いときは、気持ち手狭な気がします ・体も大きくなってきて、手狭感はあると思います	のびのびを活動を行えるように活動スペースを工夫していきます。
	2	12	3		1	・特に送り迎えなど、危険と感じることもなく、職員を配置されていると思います ・たまにスタッフの変動はあるが、人数はいいと思います	常時5~6人の職員で安全性を強化し、子どもたちの小さな変化にも気づけるように配置しています。
	3	13	1		2	・生活空間は、子どもたちの活動の空間、トイレへの回線などは動きやすそう、事務室はしっかりと分離されていると思います ・段差もないし、給カードなどの視覚支援もなされていると思います	年齢や発達段階、障害特性を踏まえて見直しを立てやすいように流れボードやイラストカード、ひらがなカードを取り入れています。今後も活用しながら子どもたちが分かりやすい環境をつくっていきます。
	4	13	2		1	・様々な取り組みをされていますが、次の日には整理整頓されており、物が散乱していることもないと思います。 ・手狭感はあるが、清潔であると思います	朝と夕方に掃除を行っています。清潔な空間が保てるよう心がけていきます。
適切な支援の提供	5	14	1		1	・子どものことをよく観察していただき細かくケアをしていただいていると思います ・専門性については知らないです。	子どもが持っている力を生かしながらその子に応じた支援を考え、提供していきます。
	6	13	3			・事業所さんの得意としている所、力を入れている所として公表していることに沿って支援をしていただいていると思います。	ホームページに公表させていただいています。支援プログラムに沿った内容を提供することを心がけていますが、その子に合った支援プログラムを考え、提供することもあります。
	7	15		1		・事業所さんとお話する時間がなかなかないですが、事業所さんの知見を生かして支援計画を作成していただいている。	個別支援計画を作成するときには、職員全員から該当の子どもの課題などを出し合い、多方面からの視点で作成しています。
	8	15	1			・個別支援計画の作成を含め、これらの3要素を踏まえて、日々子供に接していただいていると思います。	保護者さんにわかりやすい支援計画を作成していくことを心がけていきます。
	9	14	2			・おおむね計画に沿って支援をしていただいていると思います。	支援計画に基づいて子どもたちが日々ステップアップできるように、支援していきます。
	10	16				・様々なトライアルをされていて、子どもも新たな気付きを頂くことも多いと思います。	毎日利用でも飽きないように毎日プログラムを変え、同じプログラム内容を行うことはありません。同じ内容になりそうな場合は前回とは異なるルールや発展させたものを考えています。
	11		3	7	6	・そのような活動予定を拝見したことはないかと思えます。 ・季節のイベントで地域のごともどうもという会があるっぽいですが、基本的に開わりはないと思えます	保育所などと交流することはなかなか作れていないですが、イベントや屋外活動で地域のお友達との交流を図っていきます。
保護者への説明等	12	15	1			・説明を受けました。	契約時に丁寧な説明を心がけていきます。また疑問に思った時にお問い合わせいただけるような信頼を作っていきます。
	13	13	3			・支援内容の提示を頂き、必要に応じて問い合わせをする流れです。	送迎時に保護者さんにお渡しすることが多く、説明が不十分なこともあったかと思えます。保護者さん面談する機会があったときなど丁寧に説明できるように心がけていきます。
	14	6	5	4	1	・このようなプログラムを拝見したことはないかと思えます。 ・面談はしていますが、研修会や情報提供などは感じていません	イベントなどを通して、情報共有などできる機会を考えていきます。
	15	14	2			・このようなプログラムを拝見したことはないかと思えます。	健康や発達の状況については面談などでお伺いしたり、気になる様子があったときには連絡を取り合うよう心がけています。
	16	13	2	1		・送り迎えの際に日々の気づきや成長に関するコミュニケーションを取っていると思っています。	希望をお聞きしながら保護者様と面談を行ったり、送迎時に日々の子どもの様子を伝えたり、LINEの活用をして、えみでの様子をお伝えしたりしています。
	17	15	1			・このような支援のプログラムはなかったと思います	保護者様と一緒に子どもをサポートし、ステップアップができるよう、保護者様の希望や考えをお聞きしながら支援していきます。
18	4	3	8	1	・懸念事項や注力している事項などを理解いただき、疑問点が生じた折にはその都度意見交換をさせていただいています。 ・夏祭りやハロウィンなどでは保護者の参加もありますが、保護者会などの保護者主体の会はありません。	活動スペースに限りがあるため、イベントを開催した時に限られた人数になってしまいます。今後は別の場所を借りたりして保護者様やきょうだいの交流も幅広く出来るよう考えていきます。	

	19	子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	2	1	・このような支援のプログラムはなかったと思います ・いつでもLINEで相談や申し入れに対応いただいています。	相談や申し入れがあるときはいつでもご連絡ください。できる限り対応させていただきます。	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13	3		・可能な限り迅速にお時間を作っていただいていると思います	相談や申し入れがあるときはいつでもご連絡ください。できる限り対応させていただきます。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	13	2	1	・活動写真をもう少しみせてほしい ・最近は少なくなりました	インスタグラムや活動の写真を定期的に発信できるように工夫していきます。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15	1			個人情報に関しては、職員1人1人が意識して責任をもって十分に気を付けるように徹底しています。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10	2		4		マニュアルをもとに、事業所の対応などを保護者様にも説明、周知をしていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10	2		4	・よくやってくれている	月に1度プログラムの中で避難訓練を行っています。子どもたちも一緒に避難訓練を行っていきながら実際に発生したときに職員も子どもたちも落ち着いて対応できるように想定していきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10	3		3		安全計画は作成しているので、保護者様に周知していきながら、安全は必ず守りながら支援していきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12	2		2		けがや普段と違った様子があったときには保護者様に状況や様子を写真とともに共有しています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15	1			・いつも安心感がある	集団療育の中で自分の気持ちに葛藤するときもあるかと思っています。そのようなときにしっかりと向き合い、安心感をもってもらった信頼してもらえるよう関わっています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	14	1		1	・毎回楽しみにしている	「えみ行きたい！」と楽しみにしてくれている声があると嬉しいです。集団療育の中でチャレンジして葛藤しても最後に「楽しかった！」と思ってもらえることが頑張る源です！
	29	事業所の支援に満足していますか。	14	2			・大変満足している	いつもありがとうございます。今後子どもたちはもちろん、保護者様にも満足してもらえるよう質の高い支援ができるよう精進していきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		きつざサポートえみ			公表日		2025年 11月 17日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境 ・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1		・人数対して狭さは感じる プログラムや遊んでいるとき、狭さを感じさせないよう空間を工夫したり、外活動を取り入れていきます。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	5		・常時5~6人のスタッフがいて、手厚く、子どもの変化に気づける状態であると思います ・国の基準より多めに配置しています			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	・パーティションの活用	活動カードを使っているが、場所を示すものはないので今後つけて、わかりやすくしていきたいと思っています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	・たまに虫が出ることもありますが、掃除や駆除対策をしています	毎日帰りと朝に掃除機を実施しています。 活動をするときには活動内容に合わせた空間を作れるようにしています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		・中学生が1人で作業できる環境と時間を作っています ・パーティションや個別の机があります			
業務 改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		・毎朝の支援会議やチャットでの共有を細かく行っています ・朝、全体で振り返りの時間を作っています			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・こまめな面談を行っています ・上司に伝える機会があり、良い方向へ改善ができるようにつなげています			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		・積極的に参加や実施をしています ・社員は年に一度は必ず研修を受けています			
適切 な 支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		・全スタッフで把握して進めています			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5					
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		・全員から対象児童の課題やいい面など意見を聞いて様々な視点を取り入れていると思います			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		・月に一度ケース会議を行っています			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		ツールを用いたアセスメントではなく、毎日支援会議を行い、子どもたちそれぞれの変化や行動について振り返り共有認識を深めています。			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		・利用児童それぞれの課題を全員で出し合っています。それをもとに個別支援計画を作成しています。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		・1人で作成を行うが、全スタッフで子どもたちのステップアップができるようにチームで行っています。			

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		・同じ内容のプログラムは一度もなく、毎日違うプログラムを実施しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		・毎朝ミーティングを行ってチームで連携をとって支援に向き合っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	・終了後ではなく、その都度情報共有を行っています ・毎朝、近日常の振り返りを行っています ・業務上、直接打ち合わせができないので、主にチャットワークを活用したり、翌日以降支援会議で共有しています	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		・チャットワークを活用して記録として残し、支援の検証、改善につなげていっています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		・半年に一度はモニタリングを行うようにしています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		・必要に応じて共有しています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	3		・障害福祉サービス事業所に移行するまでの年齢の子はまだいない
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5		研修受講しています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	3	外出先での地域の子たちと関わる機会があり、交流するときもあります	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	4	必要に応じて面談を実施し、情報共有は行っています	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	1	・イベントで交流する機会がありました	・回数は少ないため、交流ができる機会やイベントを今後増やしていきたいです
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	2		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		・月に1回避難訓練を実施している	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1	主に保護者の方のご説明に合わせています	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		・安全計画は作成されています	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	1			